

見守る社会



多頭飼育の問題

動物を増やしすぎてきちんと世話ができなくなることによって起きる様々な問題を多頭飼育問題といいます。多頭飼育問題は、動物を不健康にするだけでなく、飼い主の健康や生活環境を損ない、悪臭や衛生問題といった近隣への迷惑をもたらす、人と地域の問題でもあります。背景には生活困窮や社会的な孤立等があり、社会福祉的支援を必要とする飼い主も多くいます。また、再発リスクが非常に高く、根本的な解決のためには飼い主に継続的に働きかける必要があります。関係者が連携して「人の問題」と「動物の問題」の両方に対応し、地域で見守ることが大切です。



地域猫活動

猫は決まった飼い主のもとで室内飼いがこれからの社会の基本ですが、地域で今暮らしている飼い主のいない猫との共生を目指す取組が地域猫活動です。周辺的生活環境被害や飼い主のいない子猫の発生を防止するために、地域住民の十分な理解のもと、不妊去勢手術、エサやりや排せつ物の管理などを行う活動です。



動物虐待

動物虐待とは、動物を不必要に苦しめる行為のことをいい、正当な理由なく動物を殺したり傷つけたりする積極的な行為だけでなく、必要な世話を怠ったりケガや病気の治療をせずに放置したり、十分な餌や水を与えないなど、いわゆるネグレクトと呼ばれる行為も含まれます。動物の虐待等を発見したときは、下記の連絡先に相談または通報してください。



(地方自治体動物虐待等通報窓口一覧)

http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/3_contact/reportcruelty/



発行：環境省自然環境局総務課動物愛護管理室
所在地：〒100-8975 東京都千代田区霞が関 1-2-2
<http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/>
令和3年9月発行



○お問い合わせやご相談は、お近くの都道府県、政令市、中核市等の担当窓口へ